



水の季節

☒ 初夏のさわやかな季節になり川で遊ぶ元気な子どもたちをみかけます。しかし、楽しい水遊びもひとつまらげえれば、とりかえしのつかない悲劇になります。

毎年、夏には水の事故で命を失う子どもの数が、交通事故で命を失う子どもの数をはるかに上回っています。

県下では、昨年一年間に八十人もが水の事故で死んでいます。

このうち、十五歳以下の子どもが二十三人を占めています。

☒ 幼いお子さんのいる家庭では庭で遊んでいるといつても安心はできません。庭先きの浅い池や小さな川に、幼児が落ちて死に至る事故が多いからです。

つゆが明けると強い日射しが照りつけ、暑さもいよいよ本格的になります。

■ **夏まけを防ごう……**夏バテの回復にはウナギにかぎるといわれるように油料理が一番です。土用の丑の日は21日です。ウナギにかぎらず牛乳やバター、チーズ、野菜など大いにとることをおすすめします。

■ **食事と健康……**冷たいものの飲みすぎ、食べすぎ、食中毒などによる下痢の季節でもあります。

食べすぎか飲みすぎか、原因に思い当たるふしがないときは、とにかく医者に見てもらってください。

熱も腹痛もあまりなければ、保温、安静に気をつけて、最初の一日ぐらひは絶食するのもいいでしょう。

■ **もうすぐ夏休み……**とかくルーズになりがちな休暇中を健康に過ごすためには、やはりある程度の規律をつかって正しく守らせるようにしたいものです。これはお子さんに自分で時間表を作らせたほうがよいようです。

■ **休日当番医**
 2日 沢本医院 (田村) 4-2712 / 9日 西川診療所 (物部) 4-2751 / 16日 川村胃腸病院 (立田) 4-2707、(有線) 3976 / 23日 北村病院 (西町) 4-2101 (有線) 4619 / 30日 川内内科 (栄町) 4-2801 (有線) 4872 / 8月 6日 山本内科 (中町) 4-2575

■ **税金の納期**
 7月31日 固定資産税第2期

■ **交通事故情報**
 4月20日から1カ月間 南国署管内 数字は、発生件数・傷者・死者の順
 国道32号線 9-15-1 / 192号線 2-3-0 / 55号線 9-13-0 / 南国バイパス 4-6-0 / 県道春野・赤岡線 2-2-0 / 後免・高知線 1-0-1 / 後免・浜改田線 3-3-0 / 土居・五台山線 1-1-0 / その他の道路 5-5-0 / 合計 36-48-2

池や水そう、古井戸、みぞなど危険と思われる所をよくしらべ、ふたやさくを作るなど、必要な対策をとっておきましょう。

そして、家庭では、ふだんから

には、必ず保護者が付き添うようにしましょう。

☒ 夏ともなれば、暑さにのびてしまったおとなをしり目に、こどもは、一日中元気にはなまわって

からだの疲れなど感じないようですが、弱ったからだは、水中で心臓マヒや手足のけいれんなど、思わぬ事故をひきおこします。

☒ 家庭では、食事やすいみん時

こどもを水の事故から守ろう



川や池の危険性を、わかりやすくくりかえして教えておくことです。また、ヨチヨチ歩きのお子さん

います。夏の暑さも、水の中の遊びも、体力の消耗の激しいもので、こどもは遊びに熱中すると、

十分の食事と
すいみん時間
勉強だけでなく
遊びにも関心

間を十分にとらせ、こどもの健康状態に注意しなければなりません。こどもの遊びには、まるで無関

心、放任といったおかしな人が多いですが、勉強だけではなく遊びにも関心をもつべきではないでしょうか。

「家の中でさわいではいけません」「道路は危険です」「川で遊んではいけません」などというだけでは、こどもたちの遊べる場所がなくなってしまう、こどもたちはおとなの目とどかないあぶないところで遊ぶようになります。

☒ あぶない所を改善したり、監視したりして、こどもたちが安全にのびのび遊べるような環境にしてやるのが、おとなの責任ではないでしょうか。

また、あぶない場所を遊んでいるこどもを見かけたなら、他人のこどもだからと素通りをせず、その場で注意し、安全なところで遊ばせる思いやりがほしいものです。